

# 吉野川市地域公共交通活性化協議会 第2回会議 会議録

日 時 令和7年7月1日(火) 午前10時00分～午前10時32分

会 場 吉野川市役所 東館3階 231会議室

## 出席委員

吉野川市長	原井 敬
徳島大学 教授	奥嶋 政嗣
四国旅客鉄道(株) 徳島企画部 部長	荒井 隆
徳島バス(株) 企画管理部 副部長	林 直人
山瀬観光(有) 代表取締役	藤田 良
(一社)徳島県バス協会 専務理事	重本 錦二
四国運輸局 徳島運輸支局 首席運輸専門官	廣瀬 渉
四国運輸局 徳島運輸支局 首席運輸専門官	齊藤 信一郎
徳島県 生活環境部 交通政策課 課長	橋本 貴弘
(代理出席) 交通政策課 係長	山田 知成
徳島県 東部県土整備局吉野川庁舎 施設管理課長	津村 直樹
吉野川市老人クラブ連合会 会長	大石 剛久
吉野川商工会議所 会頭	坂東 謙
吉野川市 教育委員会 教育長	木屋村 雅信
吉野川市 市民部 部長	上田 哲也
吉野川市 建設部 監理課長	角野 芳正
吉野川市 建設部 都市計画住宅課長	青木 健
吉野川市 産業経済部 商工観光課長	川端 俊宏

## 委任状提出委員

徳島県タクシー協会 会長	花岡 秀郎
徳島バス労働組合 書記長	岩生 大治
吉野川市社会福祉協議会 事務局長	宮本 陽一

## 事務局

吉野川市 市民部 市民生活課長	尾西 稔生
吉野川市 市民部 市民生活課 主幹兼係長	工藤 聖隆
吉野川市 市民部 市民生活課 主事	野口 真代

## 欠席委員

パブリックサービス タクシーサービスユニット ディレクター  
阿波吉野川警察署 交通課長

代理人 交通課 係長

吉野川市商工会 会長  
川田地区自治会連合会 会長  
美郷地区自治会連合会 会長

岩城 雅弘  
菊川 沢司  
藤島 正智  
平内 俊三  
小林 俊喜  
松原 勲

## 議 題 協議事項

報第1号 吉野川市地域公共交通活性化協議会規約の制定について  
報第2号 吉野川市地域公共交通計画策定支援業務受託業者の決定  
について

議第1号 アンケート調査について  
(1) 吉野川市の現況について  
(2) 調査項目について  
(3) 調査スケジュールについて

### 1. 開会

(事務局 尾西課長)

ご案内の時刻がまいりましたので、ただ今から、「吉野川市地域公共交通活性化協議会第2回会議」を開催いたします。

会議に先立ちまして、今回、委員の変更がございましたので、ご報告いたします。詳細は資料7ページにございます委員名簿にてご確認ください。

本日は、8番・花岡委員、9番・岩生委員、15番・宮本委員が会長委任をされてのご欠席でございます。

また、20番・松原委員からもご欠席の連絡がございました。

なお、12番・橋本委員及び14番・菊川委員におかれましては、それぞれ山田様、藤島様に代理出席のご連絡をいただいております。藤島様は、まだ来られてはいないようです。

それでは、議事進行に移りますので、原井会長よろしく申し上げます。

(議長 原井市長)

皆さん改めましておはようございます。

本日は第2回目となります吉野川市地域公共交通活性化協議会の会議という

ことで、大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。皆様には日ごろから本市の行政各般に渡りまして、ご理解ご協力をいただいておりますこと、感謝を申し上げます次第でございます。

## 2. 議題

### (1) 報第1号 吉野川市地域公共交通活性化協議会規約の制定について

(議長 原井市長)

それでは早速議題の方に入って参ります。

まず、本会は、委員の皆様の過半数の方にご出席していただいておりますので、設置要綱第6条第2項の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。

それでは、報第1号「吉野川市地域公共交通活性化協議会規約の制定について」、事務局よりご報告申し上げます。

(事務局 工藤主幹)

それでは報第1号「吉野川市地域公共交通活性化協議会規約の制定」についてご報告申し上げます。

設立総会において、吉野川市地域公共交通活性化協議会条項を添付書類として、阿波銀行での口座開設の申請をいたしましたところ、当日は問題なく口座を作ることができておりました。しかしながら、後日となる5月13日に阿波銀行鴨島支店から本店において条項ではなく、規約が必要と言われたと連絡がございましたので、5月16日までに鴨島支店に作成した規約を提出して欲しいとの連絡があったものです。

そこで、条項の情報に事務所の位置に係る情報を加えて規約とし、会長専決にて制定し、阿波銀行に提出させていただいたものですので、今回ご報告させていただきました。

(議長 原井市長)

ただいま、報告のありました報第1号「吉野川市地域公共交通活性化協議会規約の制定について」、皆様方のご意見、ご質問をいただきたいと思います。ご意見・ご質問ございませんか。

意見・質問なし

(議長 原井市長)

それでは特にご意見ないようでございますので、報第1号議案につきまして、原案通り承認することにご異議ございませんか。

「異議なし」と呼ぶ者あり

(議長 原井市長)

それではご異議なしと認められますので、報第1号につきましては、原案のとおり承認されました。

(2) 報第2号 吉野川市地域公共交通計画策定支援業務受託業者の決定について

(議長 原井市長)

続きまして、報第2号吉野川市公共交通計画策定支援業務受託業者の決定について事務局よりご報告をお願いいたします。

(事務局 工藤主幹)

それでは、「報第2号吉野川市地域公共交通計画策定支援業務受託行政の決定」についてご報告申し上げます。

設立総会にてご説明申し上げました内容に沿い、令和7年5月30日の金曜日、令和7年度吉野川市地域公共交通計画策定支援業務として7社を対象とした指名競争入札を実施いたしました。

資料の5ページをご覧ください。

入札結果表を添えてございます。

入札の結果、エイト日本技術開発、徳島支店様が落札いたしました。

また、6月5日付けで業務委託契約を締結しております。

本日は受託業者である、エイト日本技術開発から策定支援業務を担当する皆様にご出席をいただいておりますので、この際ですので、一言ご挨拶をお願いいたします。

(受託業者 エイト日本技術開発)

ただいまご紹介いただきました株式会社エイト日本技術開発と申します。

この度は御市の地域公共交通計画策定に向けて、諸々お手伝いをさせていただくことになり大変光栄に思っております。

本日は徳島県様も会議にご出席いただいておりますけれども、吉野川市地域公共交通計画の策定に向けましては、すでに定められている徳島県地域公共交通計画に掲げられている公共交通の最適化・利便性向上・利用促進の観点を重視して、

県計画との整合と連携を図りつつ、御市の交通課題の解決に寄与する計画を皆さんと一緒につくっていければと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 工藤主幹)

以降はこのチームの皆様と適宜相談、協議をしながら、公共交通計画策定に向け、事業を進めるとともに、委員の皆様への報告、審議を重ねて参る所存でございますので、よろしくお願いいたします。

(議長 原井市長)

それでは、報第2号につきまして、ご意見・ご質問ございませんか。

意見・質問なし

(議長 原井市長)

それでは特にご意見ないようでございますので、報第2号議案につきまして、原案通り承認することにご異議ございませんか。

「異議なし」と呼ぶ者あり

(議長 原井市長)

それではご異議なしと認められますので、報第2号につきましては、原案のとおり承認されました。

(3) 議第1号 アンケート調査について

(議長 原井市長)

続きまして、議第1号「アンケート調査について」事務局より説明をお願いします。

(事務局 工藤主幹)

それでは、「議第1号 アンケート調査」についてご説明申し上げます。

現在、国の地域公共交通施策は、「地域交通のり・デザイン(再構築)」を主軸とし、「地域の公共交通のり・デザイン実現会議」が主体となって取り組まれております。これは、デジタル田園都市国家構想実現会議の下、交通のり・デザインと地域の社会的課題解決を一体的に推進するための会議として設置されたものです。

ここでは、地域を4つの類型に分けて検討しており、本市は【人口10万人未満の自治体】が対象となる「主に交通空白地など」の類型に属していると考えられます。

この類型における地域公共交通の現状は、

1. 交通事業者によるサービス提供が困難
2. 過疎化・高齢化が著しく、病院の統廃合・移転、学校の統廃合等により日常生活の「移動」の問題が深刻化

が挙げられており、本市の現状に合致する内容が含まれていると言えます。

ここでアンケートの件でございます。前回、奥嶋副会長からアンケート調査の方向性をどうするのか、というご意見をいただいております。

別紙資料1をご覧ください。

今回、エイト日本技術開発様が、吉野川市地域公共交通計画策定支援業務委託の受託者と決定したため、早速協議を行い、同社が保有する知見をお借りしつつ、今後、アンケート調査を実施するにあたって、まずは本市の現況について、ご報告するとともに、アンケートでの調査項目(案)についてお示ししたものでございますので、その概要を申し上げます。

表紙をおめくりいただき、1ページ目をご覧ください。まずは、本市の地域特性についての分析でございます。ここでは人口動態や人口分布のほか、公共交通カバー圏域人口についてお示ししてございます。これによると、駅から半径800m、バス停から半径300mの公共交通カバー圏域といわれるエリアに居住している市民は全体の5割強となっており、約半数が公共交通空白地域に居住していることがうかがえます。なお、吉野川市立地適正化計画における居住誘導区域となっております呉郷団地でございますが、こちらも公共交通カバー圏域から外れております。

2ページをお願いします。吉野川市民の移動特性と市民が日常的に利用する施設の配置状況でございます。

3ページをお願いします。本市の交通ネットワークの状況と、主要公共交通機関であるJRと徳島バスの乗客数についてです。こちらは公表されているデータのほか、徳島バス様からデータの提供をいただいたものでございます。この中で、徳島バス様の資料において、2016年度から2017年度にかけて、利用者数の、大幅な減が見られておりますけれども、こちらは路線の再編による減便が大きく影響しているということとなっております。その後は、コロナ禍等ございますが、2024年度にはコロナ禍の水準から回復しているということが見てとれます。

続いて4ページです。こちらは美郷地区と阿波山川駅間を巡回して運行している代替バスの状況でございます。

5ページをご覧ください。これは、本市が取り組んでおります公共交通施策の概要と、それに要する費用負担についてお示ししたものです。

以上を踏まえたうえで、6ページをお願いします。

まず、アンケートの調査目的でございますが、「市民の移動実態の把握、現況の公

公共交通に対する市民の意向、潜在的ニーズの把握のために実施するものです。

調査対象は市内在住の15歳以上の方から10歳刻みで抽出する3,000名とし、今月から来月にかけて実施の予定です。

調査方法ですが、アンケート調査票を郵送し、回答は郵送またはWebで行う予定です。

調査対象者の抽出方法については「3-2 調査対象の抽出」にお示しのとおりです。抽出方法の詳細は別紙をご覧ください。

最後に調査内容(案)でございます。これは、本資料にお示しした本市の現況から、地域公共交通計画の策定に必要なと思われる項目について列挙したものでございます。

これらについて、委員の皆様の忌憚なき意見を頂戴し、深く掘り下げた方がいいと思われる詳細な内容の設定などに反映させ、実際にアンケート調査を実施する際の参考にいたしたいと考えております。

(議長 原井市長)

ただいま、説明のありました議第1号「アンケート調査について」皆様方のご意見、ご質問をいただきたいと思えます。

調査の実施方法について説明されましたか。

(事務局 工藤主幹)

郵送でアンケート調査票を配布して実施します。

(議長 原井市長)

承知しました。

それでは一連の説明につきまして何かご意見ご質問等ございましたら挙手にてお願いいたします。

(奥嶋委員)

市民アンケート調査内容に関して、公共交通に対する意向という項目が重要な部分だと考えます。

新たな公共交通の導入に対する意向において、デマンド交通をあげていただいているのですが、デマンド交通は他の地域でも実際に導入されているところもあるのでご存じの方もいるかもしれませんが、利用者として想定されるような世代の方々には、丁寧に説明していただかないと分からないかもしれません。その辺りは注意していただきたいなと思いました。

質問ですが、自動運転などというのはどういう意向を聞かれようとしているのでしょうか。

(事務局 工藤主幹)

新たな公共交通モードということで、現在、国も力を入れている自動運転に対する取組ということですが、地域的には導入したとしてもおそらく限定的になってくると思いますし、導入するためには、地域公共交通計画の策定が先決かと思います。

本市の中で、自動運転が利用できるようなエリア等についても、計画内である程度検討をできればと考えております。実際に自動運転で実施できるかどうかにつきましては、未定ということになりますけれども、少なくともここには自動運転を導入した方が利便性を高めることができるエリアというものを取り上げていく必要はあると考えておりますので、その点でアンケートを行えるように考える予定です。

(奥嶋委員)

自動運転を導入する目的が、公共交通空白地域を埋めるためか、今ある路線を自動運転車両に置き換えて運転手にかかる費用を削減しようとしているのか不明瞭です。何のために、自動運転の意向調査をしたいのか明確にして意向を確認する必要があります。普通は自動運転ではなく、運転手のいる車両に乗せてほしいと思うのではないのでしょうか。

はっきりと、どこであれば自動運転を導入してサービスを向上できるのかという想定をはっきり持っていて、そこに自動運転を導入するときの意向を全市的にアンケートで確認するというような体制で意向を把握するのが良いのではないかと思います。

(議長 原井市長)

少なくともデマンド交通について、アンケートの中である程度説明をしておかなければ、高齢者の方にはイメージがわからないということですね。

自動運転等についてもご意見をいただきましたので、先生のご意見を踏まえた上でアンケートの具体的な内容については詰めていくことでよろしいですか。

その他何か今回の資料を見て、ご意見ご質問等ございましたらよろしく願います。

(林委員)

自動運転に関して、どういった目的で実施するのかといった話でしたが、徳島では那賀町さんが前年度に自動運転を実証しておりますので、那賀町さんと意見交換してどういう目的で実施するか考えてはいかがでしょうか。具体的には、那賀町さ

んは丹生谷という幹線路線の一部区間を自動運転実証する内容でした。対象路線は、以前徳島バスの路線だったですが子会社の徳島バス南部に現在路線の移管をしております。実証時には必要なデータを取られていると思うので那賀町さんにご確認いただき、同じ徳島県で実施している事例ですので、そういったものを活かしていただきたい。

自動運転はハードルが高く、日本中で実施されていますがまず費用を比べる必要があります。バス会社からすれば、自動運転はラストワンマイル交通であり、通常のバス等ではカバーし切れないところの手段とするイメージです。ただ、都会の方であれば、空港や(導入が)簡単なところであれば自動運転を導入している場合もあるので、エリアや目的ははっきりした方がよろしいかと思えます。費用については、国の予算もあります。整理した上で実施すれば自動運転は技術的には素晴らしいものと考えております。

乗務員不足の問題を事業者抱えている中で、その点をカバーできる技術であると思うのですが、運用が大変だと思えますので、実施するにあたってはアンケートとは別に実証された自治体さんへ確認されたらいいかと思えます。

(議長 原井市長)

自動運転は県内だと那賀町さん、四国では松山市さんなどが実施されているのでその辺を視察させていただきたいなと思えます。この辺りも含めて事務局には検討をお願いします。

私は、公共交通に対する意向ということでデマンド交通・自動運転に関する意向を必ずしも確認するわけではないと資料から解釈しましたがいかがでしょうか。我々もまちとしての方向性含め意向を確認したいのですが、最終的に必ず自動運転を実施するとは限らないと思えます。

(受託業者 エイト日本技術開発)

様々考えられる中の1つとして、自動運転のような手段もあるかなと考えております。

(議長 原井市長)

現時点では、広く捉える意味で記載をしているということでございますね。そのように、皆様方にはご認識いただけたらと思えます。

受託業者さんは何か補足する点等ございますか。

(受託業者 エイト日本技術開発)

あくまでも今回の資料では、アウトラインとして説明させていただいておりますので、細かい調査設計については改めて検討させていただきます。何かこういった視点で質問して欲しいというようなご意向があれば、それをお伺いさせていただければと思います。

(議長 原井市長)

アンケートの方向性としては資料のように考えられているということで、委員の皆様には、後日ご意見等ありましたら事務局までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、議第1号「アンケート調査について」原案のとおり可とすることにご異議ございませんか。

「異議なし」と呼ぶ者あり

(議長 原井市長)

それではご異議なしと認められますので、議第1号「アンケート調査について」は原案のとおり可決されました。

以上で、本日予定の協議事項は全て終了いたしました。

その他、委員の皆様から何かご意見等はございませんでしょうか。

その他、報告・発言等なし

(議長 原井市長)

協議は以上で終了といたします。アンケートの調査内容(案)に関するご意見やご質問がございましたら、後日でも結構ですので、事務局までお気軽にご連絡ください。

本日は、ありがとうございました。では、進行を事務局に戻します。

(事務局 尾西課長)

原井会長ありがとうございました。以上をもちまして、吉野川市地域公共交通活性化協議会第2回会議を閉会いたします。

委員の皆様、お疲れ様でした。

閉会 午前10時32分